



美豆だより

特別号

平成30年11月吉日
京都市立美豆小学校
校長 高嶋 登

美豆小学校HP QRコード



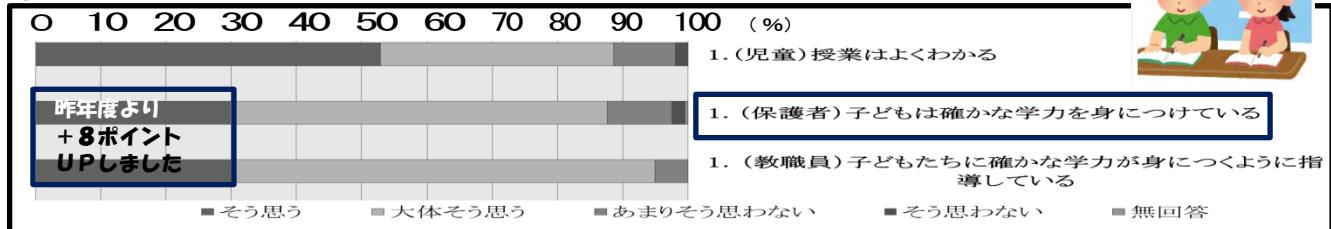
紅葉の候 皆様におかれましてはますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。日頃は本校教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。



お忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。この学校評価は、子どもたちや保護者、地域の方々の一人一人の声を大切にすると共に、共通認識のもと連携して取組をすすめ、子どもたちの学校生活をよりよいものにすることをめざしています。

1. 学力面について

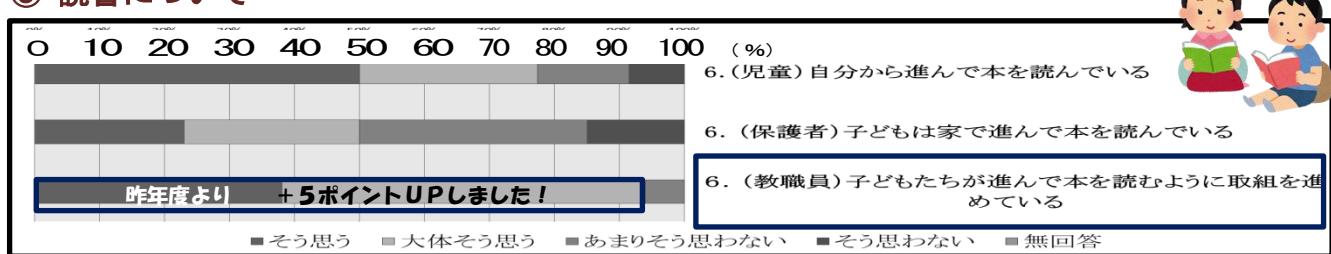
① 学力について



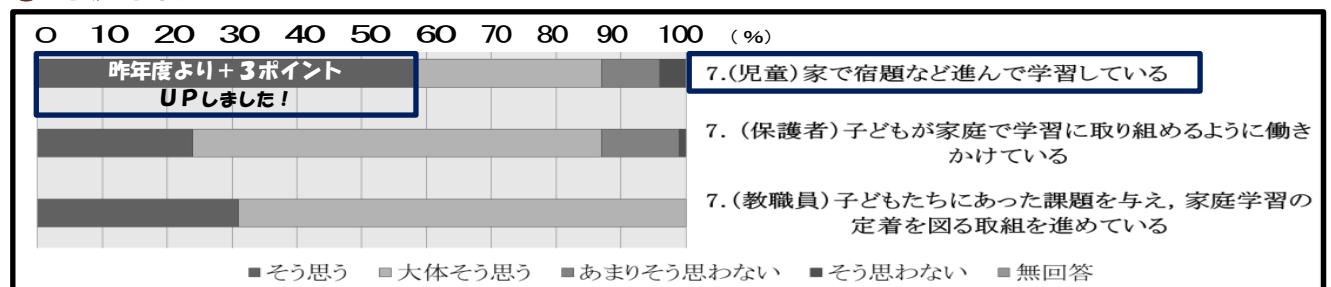
② 授業について



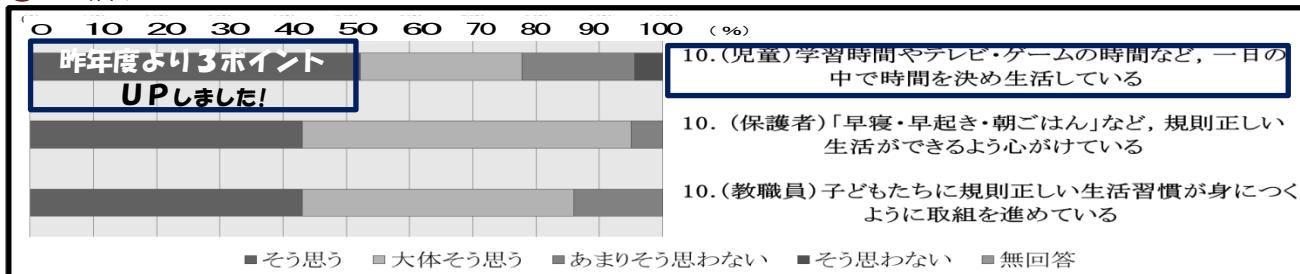
③ 読書について



④ 家庭学習について



⑤ 生活リズムについて



☆昨年度前期学校評価アンケートとの比較を通した分析

①の学力と②の授業理解について、保護者の「そう思う・大体そう思う」を合わせた数値が13ポイント増加し、教職員においては、「そう思う」の数値が15ポイント増加しました。これは全国学力状況調査テストの結果からもうかがえます。本校では今年度より算数科の授業研究に重点をおいています。その中で、算数科の知識・技能などの育成だけではなく、他教科でも生きる力・他教科で学んだことが生きる算数の力の育成を目指しています。

③の読書習慣の定着に関して、児童・保護者の「そう思う」の数値が5ポイント増加しました。学校司書と連携し、国語科での並行読書や他教科での調べ学習など、図書館を利用し、本を通して学ぶということが増えてきたこと、朝読書や図書ボランティアによる季節ごとのイベント、サタデースクール「てっぺん読書」等、読書に親しめる環境づくりを継続して行っていくことなどの効果が出ていると考えられます。

今後も図書館を活用した授業展開を積極的に取り入れ、取組を進めていきます。ご家庭でもぜひ、読み聞かせを楽しみながら取り組んでいただくことをお薦めします。



④の家庭学習において、児童の「そう思う」の数値が3ポイント増加しました。家庭学習は学力定着において大変重要です。今後は宿題だけではなく、自主的な学習が進むように学校での取組を進めていきます。「まなびの道しるべ」を発行し、家庭学習に関する情報を伝えたり、子どもたちがいつでも利用できる学習プリントを職員室前に置いたりしています。ご家庭での積極的な働きかけもお願ひいたします。



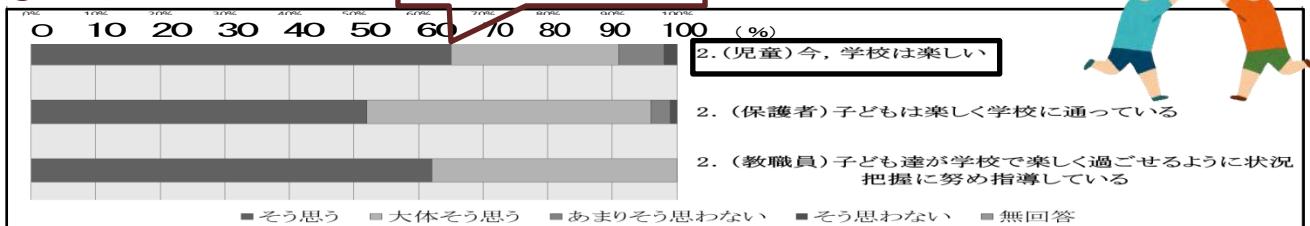
⑤の生活リズムにおいて児童の「そう思う」の数値が3ポイント増加しました。生活リズムが整うほど、学習に向かう気持ちも高まります。全国学力学習状況の児童質問紙では、放課後や週末の過ごし方として、家族と過ごすという項目が全国平均に比べて高い数値を示していました。今後もご家族との大切な時間を有意義にお過ごしいただき、生活リズムを整えることへのご協力を願いいたします。

【家庭からのご意見】

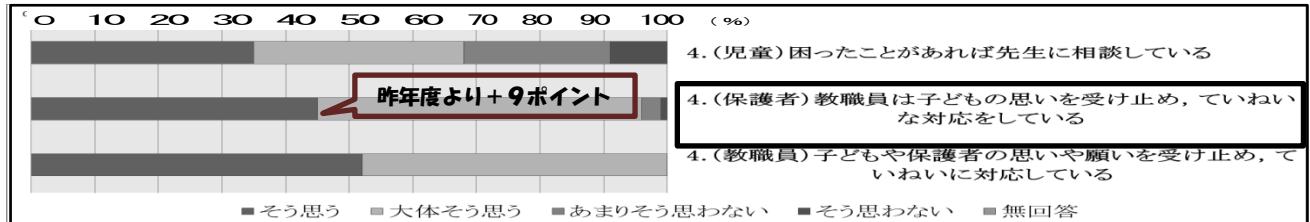
- 地震の際、すばやく机の下に避難するのを見て、学校での命を守る教育がとてもしっかりされている事に感心しました。
- 授業が分かりやすいと子どもが言っています。
- 子ども一人一人を大切に思ってもらっているのがよく分かり、安心しています。
- 家で自分ではなかなか勉強できないので、宿題としてプリントなどを増やしてほしい。
- 国語や算数など、補習を増やしてほしい。
- HPの更新回数が減ったので、学校の様子が分かりにくくなつた。
内容を踏まえ今後の学校運営に生かしていきたいと思います。今後ともご理解・ご支援いただきますよう、お願ひいたします。

2. 生活面について

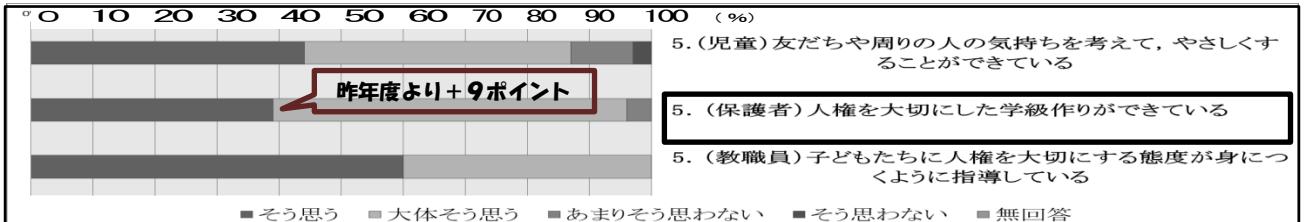
① 学校の楽しさについて 昨年度より+2ポイント



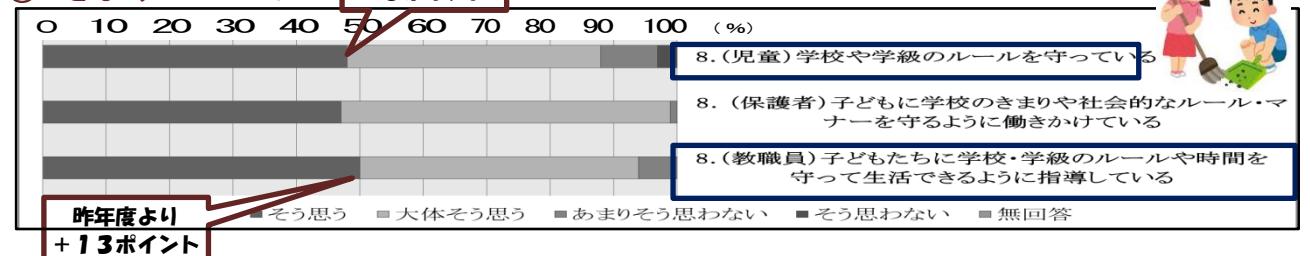
② 思いや願いの受け止めについて



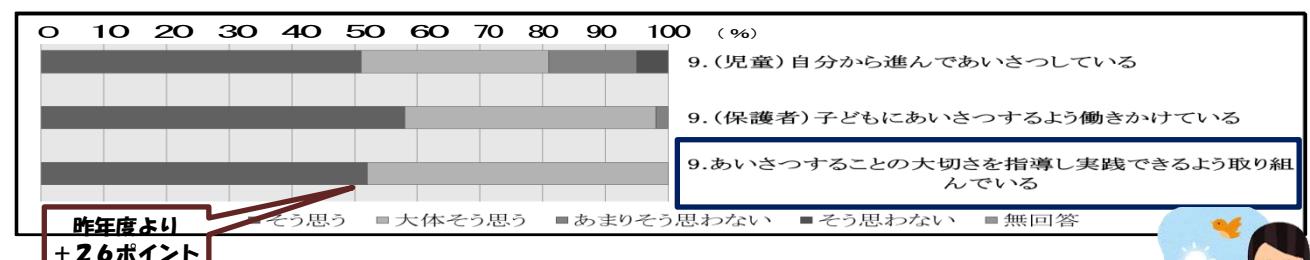
③ 人権(思いやり)について



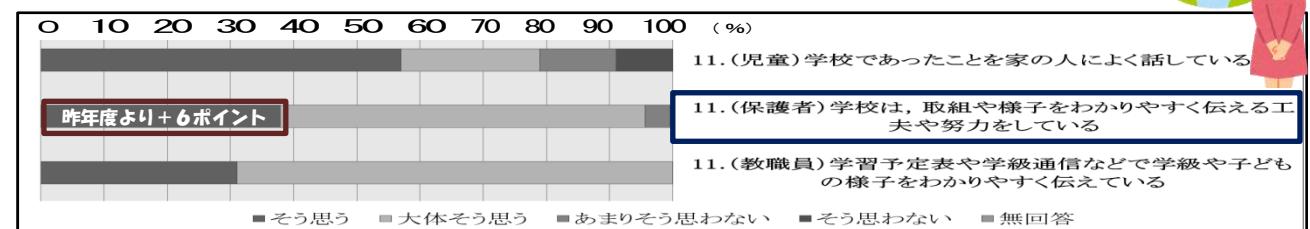
④ きまりについて



⑤ あいさつについて



⑥ 学校・家庭との連携について



★昨年度前期学校評価アンケートとの比較を通した分析

①学校の楽しさや困りごとの相談に項目において、ほとんどの子どもたちが楽しく学校に通えているようですが、「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせた数値が微増しています。教職員はこれを真摯に受け止め、学校は楽しいと思えるように、また、先生に相談しようと思えるように、これまで以上に児童の日々の様子を丁寧に見ていきます。

③の思いやり・④のきまりや⑤の挨拶について、児童・教職員の数値においては、「そう思う」「大体そう思う」が大きく増加しています。教職員が同じ意識で児童への指導を行い、自ら積極的に手本となる姿を見せることや、小中連携した挨拶運動の取組や見守り隊をはじめとする地域の温かな声かけの成果を考えます。今後も継続していきます。また、学校内での姿だけではなく、地域や家庭に帰っても同じような姿が見られるように見守り、指導していきます。



⑥の連携において、保護者・教職員・児童三者の「そう思う」の数値が微増しました。これは昨年度大きく増加した項目で、更に増加が見られたということは、学校とご家庭との連携が進んでいると感じています。しかし記述評価では「HPの発信が減った。」とのご指摘もいただいています。学校に寄せていただいているご期待を受け止め、今後もHPやおたより等で学校の様子を発信していきます。学校での様子は、HPだけではなく、各クラスごとに担任が思いを込めて学級通信を発行しております。そちらも是非お読みください。

合わせて学校での様子をご家庭で話題にしていただきたいと思います。

3. 「学校運営協議会」による学校関係者評価(外部評価)

【地域と共に学び育てる】

「学校教育においては、単に学力向上だけではなく、人間教育を行ってほしいと願っている。その点においては、十分に取組の姿がうかがえる。」というご意見をいただきました。また、学校だけではなく家庭・地域が一丸となって子どもたちを育てていこうというご意見をいただきました。特に、防災教育に関しては今後も地域と共に学び、伝え広めて育てていくことも意識して取り組んでいきます。

【親子のコミュニケーションを大切に】

「子どもとじっくり向き合い、子どもの「今」を知ることで、一見不安要素に感じるような子どもたちの悩みが見えてくるかもしれない。しかしその悩みを学校が受け止め、丁寧な対応をとることによりより深い信頼を築いていると感じている。」とのご意見をいただきました。これまで同様に、一人一人を大切にした学校教育を推進していきます。

【同じ意識・同じ価値で地域・家庭・学校が連携して】

「学校で「地域を学ぶ」ということがとてもありがたい。そうやって学んだ子どもたちが大きくなり、地域行事にボランティアで参加するようになってきていることがうれしい。更に成長してこの地域を担っていく人材に成長することを願う。」というご意見をいただきました。今後も地域・家庭・学校が連携して、様々な目で子どもたちを見守り育んでいきたいと思います。ご協力を願っています。

